

令和4年度 食品安全委員会 食品安全シンポジウムの開催 ～ 国際的な微生物学的リスク評価専門家会議を理解する ～

内閣府食品安全委員会では、食品又は飼料中の化学物質や微生物などのリスク評価やリスクコミュニケーションに必要な科学的知見の充実を図るため、海外の食品安全に係る研究者や専門家を招へいし、意見交換や講習を行っています。

今般、JEMRA（FAO/WHO合同微生物学的リスク評価専門家会議）*1に出席している専門家及び事務局を招へいし、以下のシンポジウムを開催します。

日時：令和5年3月22日（水） 16:00～18:30

招へい者：

[JEMRA エキスパート]

- ▶ アンドレアス・キーマイヤー 氏 (Dr. Andreas Kiermeier)
Statistical Process Improvement Consulting and Training Pty. Ltd. (オーストラリア)
- ▶ マリアンヌ・ケマリー 氏 (Dr. Marianne Chemaly)
ANSES (フランス食品環境労働衛生安全庁)

[JEMRA 事務局] (WHO)

- ▶ モエス・サナ 氏 (Dr. Moez Sanaa)、長谷川 朗生 氏、ジュリアナ・デオリベイラ モタ 氏
(Dr. Juliana De Oliveira Mota)

座長：山本 茂貴 (食品安全委員会 委員長)

モデレーター：豊福 肇 氏 (国立大学法人山口大学共同獣医学部 教授、元 JEMRA 事務局員、
JEMRA エキスパート)

形式：Zoom (オンライン シンポジウム)

言語：英語及び日本語 (日 ⇄ 英同時通訳)

【シンポジウム概要】

FAO (国際連合食糧農業機関) と WHO (世界保健機関) の合同専門家会議である JECFA*2、JEMRA、JMPR*3では、コーデックス委員会からの依頼を受けて、食品又は飼料中の化学物質や微生物などのリスク評価を行っています。

WHO/FAOの加盟国は、これらの会議にリスク評価に必要なデータを提供し、また、公募により選ばれた食品安全の専門家は、専門家個人としてリスク評価に参画し、これらの会議が行うリスク評価や科学的アドバイスに貢献しています。

このうち、JEMRA (FAO/WHO合同微生物学的リスク評価専門家会議)*1は、食品の微生物学的安全性に関するリスク評価を行っており、2000年に設置されて20年が経過し、これまで40以上のリスク評価結果等を公表しています。

本シンポジウムでは、JEMRAに出席している専門家やJEMRAの事務局から、これまでのJEMRAの活動を振り返りながら、食品の微生物学的リスク評価の方法や、リスク評価に基づくリスク管理措置についてお話いただき、意見交換を行う予定です。

*1：JEMRA：FAO/WHO微生物学的リスク評価専門家会議 (Joint FAO/WHO Expert Meetings on Microbiological Risk Assessment)

*2：JECFA：FAO/WHO合同食品添加物専門家会議 (Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives)

*3：JMPR：FAO/WHO合同食品添加物専門家会議 (Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues)

プログラム

	開会挨拶 食品安全委員会委員長 山本 茂貴
16:00 - 16:40 (40 分)	JEMRA の活動を振り返る JEMRA 事務局
16:40 - 17:20 (40 分)	JEMRA における微生物学的リスク評価 Dr. アンドレアス・キーマイヤー Statistical Process Improvement Consulting and Training Pty. Ltd. (オーストラリア)
17:20 - 18:00 (40 分)	JEMRA のリスク評価に基づく動物由来病原体の管理措置 Dr. マリアンヌ・ケマリー ANSES (フランス食品環境労働衛生安全庁)
18:00 - 18:30 (30 分)	JEMRA での経験 概要：JEMRA の活動は 2000 年に設置されて 20 年を越えました。このセッションでは、JEMRA に参加している JEMRA エキスパートから、これまでに御経験されたことをお話いただき、参加者からの質疑応答など意見交換を予定しています。 モデレーター兼パネリスト：豊福 肇 パネリスト：アンドレアス・キーマイヤー マリアンヌ・ケマリー アドバイザー：JEMRA 事務局
	閉会挨拶 食品安全委員会委員長 山本 茂貴

招へい者プロフィール

[JEMRA エキスパート]

➤ アンドレアス・キーマイヤー 氏 (Dr. Andreas Kiermeier)

統計学のプロフェッショナル。オーストラリアで統計コンサルティング・トレーニング会社を経営し、オーストラリア、アフリカ、東南アジアなどで、食品安全のリスク評価・管理、リスクプロファイリング、微生物学的基準の分野でトレーニングやコンサルティングをしています。

FAO/WHO 専門家会議では、FAO/WHO 発行の「食品に関する微生物学的基準の統計的側面ーリスク管理者のためのガイド」(MRA シリーズ 24) や「食品に関する微生物学的リスク評価ガイダンス」(MRA シリーズ 36) の作成に主導的な役割を果たしました。

➤ マリアヌス・ケマリー 氏 (Dr. Marianne Chemaly)

ANSES (フランス食品環境労働衛生安全庁) の食品安全担当の科学ディレクターで、HQPAP (Hygiene and Quality of Poultry and Pig Products) のユニット長を務めています。

また、サルモネラ又はカンピロバクターの専門家として、ANSES、EU (EFSA (欧州食品安全機関))、国際 (FAO/WHO 専門家会議) レベルの様々なワーキンググループに参加し、積極的な活動・貢献をしています。

➤ 豊福 肇 氏

国立大学法人山口大学共同獣医学部で獣医公衆衛生学、獣医疫学等を担当しています。

厚生省入省後、WHO 食品安全部 (JEMRA 事務局) に出向しました。帰国後、JEMRA のエキスパートとして参加する一方、コーデックス委員会の CCFH (食品衛生部会) 内に設置された作業部会共同議長を務めたり、WHO の食品安全技術アドバイザグループ (TAG) メンバーでもあり、食品衛生や動物用医薬品の分野で国際的に活躍しています。

[JEMRA 事務局] (WHO)

➤ モエス・サナ 氏 (Dr. Moez Sanaa)

WHO の Standards and Scientific Advice in Food and Nutrition のユニット長を務めています。

アルフォール国立獣医学部 (フランス) の教授として、生物統計学、疫学、リスクアナリシスを教えた後、ANSES の食品リスク評価ユニット長として、化学物質や微生物のリスク評価、遺伝子組換え作物などの安全性評価に尽力しました。

➤ 長谷川 朗生 氏

WHO の Standards and Scientific Advice in Food and Nutrition に所属し、JEMRA 事務局を担当しています。

厚生労働省に入省後、検疫所、医薬食品局監視安全課、大臣官房厚生科学課などを経て、現職に出向しています。

➤ ジュリアナ・デ オリベイラ モタ 氏 (Dr. Juliana De Oliveira Mota) 氏

WHO の Standards and Scientific Advice in Food and Nutrition に所属し、JEMRA 事務局を担当しています。

食品安全分野でのデータアナリシス、リスク評価に携わった経験を活かし INRAE (国立農業・食品・環境研究所) (フランス)、ANSES でのプロジェクトマネージャーを経て、現職に着任しています。

【申し込み】（締切り：2023年3月16日（木曜日））

本シンポジウムのお申し込みについては、以下の申込先メールアドレス宛てに、メール件名を「食品安全シンポジウム申し込み」として、記載事項をご記入の上、送信してください。

【申込先メールアドレス】

kojiro.yokonuma.f5i@cao.go.jp

【メールの件名】

食品安全シンポジウム申し込み

【記載事項】

- 所属：
- 役職：
- 氏名：
- メールアドレス（招待アドレス送付先）：

【お問い合わせ先】

内閣府食品安全委員会事務局 総務課 国際調整専門官

横沼 光治郎

〒107-6122

東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 22 階

TEL：03-6234-1122

FAX：03-3584-7390

E-mail：kojiro.yokonuma.f5i@cao.go.jp

※ お問い合わせは、テレワークがあるため、可能な限りメールに送付をお願いします。